

じょうかまち

4月号

発行
姫路市大善町7
TEL 284-0191
じょうかまち
編集委員 会

日本共産党
県会議員
杉本ちさと
活動報告

国追随 大企業・ゼネコン応援

県民の福祉・教育・暮らし削減

県予算に反対

3月19日県議会本会議で、知事提案の予算案が自民、民主、公明などの賛成多数で成立しました。日本共産党は、知事提案予算に反対しました。その理由は、消費税増税や社会保障改悪など、安倍政権の悪政から県民を守るため、逆に、第3次行革プランで福祉、教育など削減し、県民にその痛みを押し付けています。一方、無駄な高速道路やダムなど推進し、パナソニック姫路工場に10億円も補助金を続けるなどゼネコン・大企業応援する逆立ち予算になっているからです。

日本共産党県議団は、ムダや過大な事業を95項目、419億円減らし、借金を減らし、82億円を35項目の増額に財源充当した予算の組み替えを提案しました。これにより、こども医療費中学卒業まで無料化や高齢者や母子家庭、障害者の医療費負担を軽減し、中小企業振興で循環型経済を促進

暮らし応援 2014年度 県予算組み替え提案

— 日本共産党兵庫県会議員団 —

3月19日県議会本会議で、知事提案の予算案が自民、民主、公明などの賛成多数で成立しました。日本共産党は、知事提案予算に反対しました。その理由は、消費税増税や社会保障改悪など、安倍政権の悪政から県民を守るため、逆に、第3次行革プランで福祉、教育など削減し、県民にその痛みを押し付けています。一方、無駄な高速道路やダムなど推進し、パナソニック姫路工場に10億円も補助金を続けるなどゼネコン・大企業応援する逆立ち予算になっているからです。



杉本ちさと県議が反対討論

杉本ちさと県議は2月28日から3月4日までの予算特別委員会で質疑を行いました。概要を紹介します

兵庫県 どこに住んでいても こども医療費は無料化に



質問 今、兵庫県41市町のうち24市町で、県の子ども医療費助成に独自に上乗せして、中学卒業まで無料を実施しています。そのようななか、住んでいる自治体によって、こどもの医療費負担に差ができて、これを是正することが課題となっています。県がこども医療費を中学卒業まで無料化を実施するを強く求めますが、どうですか。

県答弁 自己負担の無料化などは、市町の判断により実施されているもの。福祉制度の自己負担は、受益と負担のバランスを確保し、持続的で安定した制度として必要。無料化は考えていません。

これで大丈夫？ 南海トラフ地震

津波浸水シミュレーション 液状化・被害想定がゼロ

質問 県は、南海トラフ地震による津波の浸水シミュレーションを公表しましたが、姫路や赤穂の石油コンビナート地区は殆ど浸水しない想定になっています。南海トラフ地震は3分間もの長期振動が予想されており、地盤が広範囲に液状化して大規模な被害が想定されます。企業任せにせず、県の責任で地盤の調査を行い、対策を強化すべきと考えますが、どうですか。

県答弁 液状化による地盤の沈下は国の想定で考慮していません。石油コンビナート地区は、県もそれに準じています。石油コンビナート地区の津波火災の恐れはありますが、せん今後、耐震性能の強化など安全性向上に努めます。



津波浸水想定図

消費税増税に反対！

消費税増税は社会保障のためでも、財政再建のためでもありません。医療・年金・介護など削減ばかりです。消費税増税は、大企業に減税し、ムダな大型公共事業と軍事費を増やすために使われます。来年には消費税10%へのルールが敷かれています。大企業と大金持ちへの減税をやめ、ムダな事業をやめれば、暮らしを守る財源がつかれます。消費税増税は撤回しかありません。みんなの大きな声と運動で暮らしを守る政治に変えましょう



姫路駅前早朝宣伝
入江次郎市議 杉本ちさと県議

6000億円超 播磨臨海地域道路建設計画 止めよ

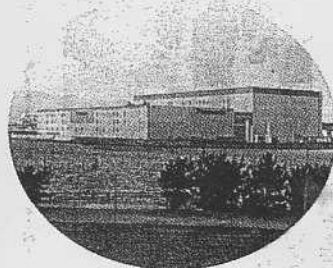
質問 国道2号バイパスの渋滞解消のため、播磨臨海地域道路が必要といわれていますが、本当の目的は、臨海部の大企業の救済や開発にあります。安倍自公政権は国土強靱化の名で、不要不急の高速道路等の建設で巨額の財政負担を増やしています。国民の福祉や暮らしにいつそうしわ寄せし、次世代にも多額の借金のツケをまわすもので、認められません。道路の改良や改修、既存道路の活用や車両交通量を減らす抜本対策など、持続可能な社会づくりこそ必要です。



播磨臨海地域道路計画

県答弁 国の優先区間絞り込み調査に対し、県は、加古川バイパスの代替機能を果たす区間、企業の協力をえて官民連携で整備する区間、播但連絡道路と本道路をつなぐ南北道路を整備する区間を国に提案しました。

パナソニック尼崎工場終了 大企業誘致の経済振興策が破綻



質問 パナソニック 尼崎工場は、立地からわずか8年で撤退しました。退職者の内、再就職内定は2割もありません。多くの労働者、中小企業振興条例の制定を促す必要はないと考える。

県答弁 尼崎にパナソニックを誘致して地域を活性化させた。中小企業を地域経済の源泉と位置付けているので、中小企業振興条例を制定する必要があると考える。

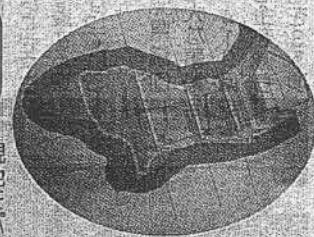
杉本ちさと事務所
月曜日～金曜日 AM10:00～PM5:00
※何でもご相談ください
※お気軽にお立ち寄り下さい
姫路市大P町7(神屋天神西側)
電話 079-284-0191
E-mail: sugimoto.tisato@llac.plala.or.jp

県会議員杉本ちさと 検索
杉本ちさとブログ 検索

森林の違法開発 20年も見逃していた兵庫県

質問 間も、許可区域外の森林を約1万平方メートルも開発する違法行為をしていました。県が現地確認をしていれば、違法行為はすくなくとも見逃すはずなのに、何故20年間もわからなかったのでしょうか。森林法を所管する県の信頼を失い、安全や環境が守れません。県民に説明して謝罪し、スキャンダルな林地開発行政を抜本的に見直すべきです。

県答弁 現地在パトロールしたり確認する義務はなく、姫路市が廃掃法上、現地確認を実施していること認識しており、県には責任がありません。今後は林地開発パトロール等の強化を図り、事業者に通切な開発行為を指導監督します。



開発区域図面

夢前町産廃処分場計画 林地開発申請 事実を確認し是正を



質問 違法行為を繰り返してきた成庫県知事に提出されています。林地開発許可申請に必要な県が定めた要綱手続きが、申請時と現在とは実態が大きく変わっています。県の責任で申請内容の事実を確認し、是正すべきではありませんか。

県答弁 県が定めた合意形成要綱、要綱は法定要件ではありません。あくまでも森林法の4つの要件を満たすことが求められ、4つの基準を満たせば許可しなればならないとされています。

赤穂市産廃問題 福浦地区産廃処分場計画

質問 岡山県との県境近く、赤穂市福浦地区の採石場跡地に、容量204万リュウベの産廃処分場建設計画がすすまっています。一方、自然環境への影響を懸念して反対運動が広がり、赤穂市民の過半数以上の反対署名が県知事に提出され、日生漁協も反対決議をあげました。浄化槽を無届で使用していたなど事業者の法令違反も発覚しました。また、県の第3者委員会設置について、住民の理解と納得を得ることや、

人選や内容など透明性と公平性の確保が重要ですが、どうですか。

県答弁 浄化槽の無届けは、県が立ち入り調査を行い適正に対応しています。第3者委員会については、委員の意見もふまえて県民局でメンバーの検討をおこなっているところです。